

各地域懇談会

西府地域懇談会

9月6日(木)13時30分から、本年最初の地域懇談会が西府文化センター講堂において、会員47名の参加のもとに開催されました。

松村班長の司会で始まり、熊澤西府地域委員の開会挨拶の後、山口副会長が「センターの現状と課題」を話されました。29年度会員数が81人増となり都内で4番目の伸び、契約額も前年度比7.3%伸びとなったと報告がありました。



また「信頼される就業、適正就業、安全就業、ボランティアへの参加促進」の課題対応の話がありました。次いで芝辻地域委員長から「地域貢献活動の積極的な展開を期待したい」と挨拶がありました。

懇談会の第一部は、府中市歴史館の塚原講師により、日本のお宝である「熊野神社古墳」の発掘調査から現況まで、興味深い話をお聴きしました。古墳は上円下方墳として国内最大級で、毎年、展示館には1万1千人が訪れているとのこと。

休憩後、第二部の会員懇談会に

入り、松本理事の絶妙の進行により、30名余の会員が次々と入会の動機、仕事の体験談、抱負等を語りました。地域会員の約3割の方々が参加した活発で有意義な懇談会でした。

最後に青柳班長から、老人ホーム「鳳仙寮」の清掃ボランティアの依頼の話の後、「盛り上がった会でした」と閉会の挨拶がありました。



西府地域懇談会の参加者の皆様

白糸台地域懇談会

10月11日(木)13時30分から白糸台文化センター講堂で、会員33名が参加して懇談会が開かれました。何と女性会員が10名出席しました。

原班長の進行で開会され、来賓の紹介に続き、渋谷会長が挨拶を兼ねて「センターの現状と課題」について話をされました。市長との懇談会では「自転車整理については、極端には減らすことはない」との市長の言葉が紹介され、仕事の受注は増えているので会員は仕事を選び好みしないで就業してほしい、身体に留意し事故を起こさないでほしい、と会長から要請がありました。

その後、八島地域委員の司会で、班長、会員の自己紹介に続き懇談会が始まり、2つのグループに分かれて活発な意見交換等が行われました。グループの進行役から、職場コミュニケーション不足の提起、駐輪場や文化センターでの仕事の不明な点やセンター職員の対応についての要望等が出され、会長からセンターに持ち帰って検討したいとの回答がありました。

第二部では、府中警察署大野警部補による「オレオレ詐欺等の

防犯対策」について、分かりやすい講義がありました。3大詐欺とは「オレオレ詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード預かり」をい、高齢者を狙って新たな手口になってきている。「引っかかりな」ために、留守番電話にする」との話に、会員が熱心に耳を傾けていたのが印象的でした。



白糸台地域懇談会の様子

